

## 令和2年度 第2回精華町町民健康づくり推進協議会 回答書

令和3年3月17日

意見・質問NO.	該当箇所	意見・質問	回答
1	■重点課題1：生活習慣病予防の取り組み	【重点事業2】健（検）診受診後のフォローワー体制の確立	健診受診後の支援体制について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、結果返却会が中止となったので、今後はテレワークの等での実施やZOOM等の活用を希望します。 引き続き感染予防策が必要なため、令和3年度も感染防止対策を講じ完全予約制で結果返却会を実施する予定です。オンラインを活用した面談に関しては、ご意見を今後の参考にさせていただきます。
2	■重点課題1：生活習慣病予防の取り組み	【重点事業2】健（検）診受診後のフォローワー体制の確立	働く世代が受診しやすいよう集団がん検診の休日実施については、今後も継続してもらいたい。休日の受診状況はどうだったか教えてほしい。 仕事をしている方や子育て中の方も多数受診され、休日検診について好評の声をたくさんいただきました。今後も健（検）診を受けやすい環境整備を図っていきます。
3	■重点課題1：生活習慣病予防の取り組み	【重点事業2】健（検）診受診後のフォローワー体制の確立	保健事業において、健（検）診後の要指導者に対して個別や集団で保健指導を効果的に行なうことが最も大切である。令和3年度も受診後のフォローを一層強化して推進してほしい。 令和2年度はコロナにより集団指導をすべて中止せざるを得ませんでした。その中で、特定保健指導対象者への個別指導や糖尿病重症化予防事業対象者に通知等で受診勧奨を実施し、個別対応を積極的に行いました。令和3年度も引き続き、感染予防策を講じて事後フォローに取り組んでいきます。
4	■重点課題1：生活習慣病予防の取り組み	【その他：「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業】	「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」において、フレイルハイリスク者への対応状況について ①オーラルフレイルの該当人数 ②オーラルフレイルについて、どのような相談があったか ③歯科衛生士による個別相談（訪問や電話）で、どのような対応をしたのか？ ①について： 質問票から「オーラルフレイルの可能性あり」の者 204名 そのうち、ハイリスク者（「低栄養」「認知症」に1項目以上 ☑のあった者）19名 ②について： 「口腔内の乾燥」「むせ」「義歯の調整不良」について質問がありました。 ③について： 唾液マッサージの方法や口腔周囲の筋力維持のためのうがい方法、口腔ケア方法の指導と、定期的な歯科受診を勧奨を実施。次年度もハイリスク者に対する個別指導を継続して実施し、オーラルフレイルに対応していきます。
5	■重点課題3：住民参加・参画型健康づくりの推進	【重点事業4】協働による健康づくり活動の発展	「令和3年度に取り組むこと」について、具体的に現状と改善すべき課題をあげ、目標に対する取組を明記したほうがよい。コロナ禍での活動自粛や外出制限など健康づくりにマイナス要素が多いが、それを含めて健康づくりにプラスとなる取組について協議していきたい。 ○「新規と既存のプロジェクトの交流支援」： せいか365プロジェクトに新規参画のいつも野菜カフェレストランと既存の6団体の交流が図れるよう代表者会等を活用しサポートする。 ○「セミナー参加者の参画支援」： セミナーの1プロジェクトであるDIYプロジェクトが活動継続の意思を示しているため、継続に向けてサポートする。 ・熱心なご意見、ありがとうございました。

意見・質問NO.	該当箇所		意見・質問	回答
6	<b>■基本目標1 :</b> <u>「正しくおいしく食べましょう！」</u> (2) 歯と口の健康		後期高齢者歯科健診の実施に向けて、現在の状況と今後の予定について教えてください。	○現在の状況： 現在、山城歯科医師会精華班と調整し令和3年度実施に向け進めています。 ○実施時期： 年度末年齢76歳の者に無料受診券を送付し受診勧奨。受診期間は秋～冬頃を予定しております。 ○健診内容：問診、口腔内診査、口腔機能評価、口腔衛生指導を実施し、口腔機能低下や健康保持増進を図ります。
7	<b>■基本目標2 :</b> <u>「楽しく体をうごかそう！」</u> (1) 運動・身体活動		親子参加のウォークラリーやイベントは親子ともに楽しめて体も動かせるので良いと思います。秋に企業を回るウォークラリーイベントに参加し、普段は入ることのできない企業や研究所の見学ができ、たくさんの新発見がありました。町と企業が一体となった取組ができるといいと思います。	関係機関や企業等と連携し、健康づくりやまちづくりに取り組んでいきます。
8	<b>■基本目標3 :</b> <u>「みんなでニコニコ健康生活！」</u> (1) 生活習慣病・循環器疾患・がん		コロナ禍で子どもたちの在宅時間が増え、ゲームやTV時間の増加により、子どもの近視が問題となっています。「眼軸近視」は将来、目の病気になるリスクが高いとされ、近年注目されています。学校でもタブレット学習が導入され、ますます近視のリスクが心配です。リスクや予防・対策の啓発を行ってはどうでしょうか。	今後、小中学校養護教諭等、学校と連携する中で視力の問題についても共有し、予防・対策に取り組んでいきます。また健康講演会等を活用し、啓発に取り組んでいきます。
9	<b>■基本目標4 :</b> <u>「笑顔でいきいきすごしましよう！」</u> (1) 休養・こころの健康づくり		子育て支援センター事業に参加することで地域のママつながりができ、様々な情報を得ることができました。コロナ禍で自宅で過ごす時間が増え、改めて他者との交流の大変さを実感しました。人との交流の機会がたくさんあればいいなと思います。	引き続き、「つながりづくり」を意識して事業を実施していきます。
10	<b>■基本目標4 :</b> <u>「笑顔でいきいき過ごしましよう！」</u> (2) 生きがい・ふれあい・社会参加		今、多様性を認め合える社会が求められています。学校での命の教育と併せて、自分も他人も認め、尊重する学びの場があればいいと思います。	学校や各機関での取組に加え、異世代での交流が多様性を認めるにつながると考えています。引き続き、異世代交流やつながりづくりの支援に取り組んでいきます。

意見・質問NO.	該当箇所		意見・質問	回答
11	<u>その他</u>		コロナ禍のため、イベント等の数を増やすことは難しかったと思われるが、ZOOM等利用し他の関係団体との話し合いがしやすかった等、今回のコロナの教訓を生かした事例があれば教えてください。	コロナ禍でマタニティ教室を中止している産科が多い状況から、マタニティ教室をオンラインで実施しました。里帰り中でも参加することができ、妊婦同士の交流や不安の軽減に役立つことができました。
12	<u>その他</u>		不登校児の居場所が少ないという声をよく聞きます。新たな居場所でなくとも、既存の活動に参加できるだけでも、子どもの世界の広がりや人との関係構築の助けになるのはと思います。子どもたちを温かく見守る地域へのアプローチがあればいいなと思います。	せいか365プロジェクト等、既存の団体と協力し、居場所づくりに取り組んでいきます。
13	<u>その他</u>		日本の性教育は遅れていると感じます。他の保護者や本などからどのように子どもに伝えようか情報を得ていますが、親が子に伝えるための勉強会など専門の方から話が聞ける機会があればありがたいです。	今後の事業の参考にさせていただきます。ありがとうございました。